

令和 8 年度入学試験問題（後期日程）
小論文
初等教育教員養成課程 人文・社会教育プログラム
解答例・出題の意図

（問 1）

（出題の意図）

課題文の読み取りからハザードマップをとりまく課題が生じている背景を理解し、それを適切に要約して説明することができるかどうかを問う設問である。

（解答例）

東日本大震災の前、宮城県や福島県ではハザードマップが作成されてはいたが、津波に対する想定が甘くなっていた。震災を検証する過程において、ハザードマップを見て安全だと思いついてしまったがために命を落とす事例があったことが明らかとなり、ハザードマップに対する不信感が高まっている。また、様々な種類の情報が異なる地図に掲載されていることや、縮尺が小さいために家や建物を一軒一軒識別することが困難であることといった問題と、それらの活用方法がわからないという問題をハザードマップは抱えており、その結果として住民にとっては「名前は聞いたことがあるが詳しくは知らない」状況が生じている。(285 字)

（問 2）

（出題の意図）

ハザードマップの本質を課題文から読み取ったうえで、ハザードマップの重要性について、児童生徒の安全を確保するとともに自らの安全を確保できる能力を育成する学校教員の立場に置き換えて、論理的に論じることができるかどうかを問う設問である。